

令和7年第9回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 令和7年9月26日（金） 14時00分
- 2 閉会日時 同 日 15時04分
- 3 開催場所 市役所1階 多目的ホール
- 4 出席者 教育長職務代理者 中 川 和 之
委 員 深 田 英 世
委 員 荒 木 努
委 員 高 橋 みのり
- 5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名
教育部長 伊 藤 勝
市参事兼こども未来課長 上 坂 智津子
教育総務課長 松 本 富 美
学校教育課長 小 坂 卓 司
総合教育センター所長 三 村 尚 彦
図書館長 桜 井 雄一郎
学校再編室長 中 井 孝 浩
教育総務課長補佐 松 田 ちあき

菅野教育長が欠席につき、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定に基づき、中川教育委員が職務代理者として会議の進行を行いました。

地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移ります。

新しく教育委員に就任された高橋委員より挨拶がありました。

6 付議事項

なし

7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8 質問及び討議の内容

なし

9 議決事項

なし

10 報告事項

教育長代理

教育長に代わり教育部長から以下の報告がありました。

8月21、22日は全県夏季教育委員会の研修会がありました。

8月24日には加西市の人権文化をすすめる市民のつどいが開催されました。映画と林家三平さんの国策落語を鑑賞しました。映画も落語も非常によかったと個人的には思っております。区長会の方々など多くの参加がありました。

8月27日には第2回学校給食センター運営方式検討委員会を開催しております。

8月28日は定例校長会を開催しました。

8月29日は加西市グローバルセンターの竣工式がございました。

9月1日には本会議第1日目が開催されております。

9月2日には先ほどご挨拶いただきました高橋教育委員様の任命式がございました。

9月4日には北播磨補導委員連絡協議会の理事会が開催されました。

9月9日、10日と本会議が開催されました。これについてはまた後でご報告します。

9月12日には総務委員会がございました。

9月13日は来年3月に予定している中学生オーストラリア研修の応募者が多数ありましたので、面接の選考会を開催しております。

9月16日は第2回社会教育委員会を開催しました。また、午後からは播磨東教育事務所との協議に参加しております。

9月17日には政策会議に参加しました。

9月18日は北条町笠屋にあります常夜灯（酒見講石燈籠）について、かねてより12区長会から老朽化しており倒壊の危険あるということで、今後どのような対応ができるのか、関係の方々と協議を開催しております。午後からは代表区長会がございました。夕刻にはさわやか市民賞、賞賜金、教育委員会表彰の授与式がございました。さわやか市民賞は田邊さん、中川さん、藤原さん、また教育委員会表彰は岡田さんの4名が授与されております。

9月19日は教育委員連絡会がございました。

9月24日には泉統合小学校開校準備委員会がございました。

教育部長

9月議会について報告します。

教育委員会からは、中学校体育館のエアコンの仮契約の案件と補正予算の案件があり、質疑等いただいております。質疑と一般質問の項目と内容につきましては、詳細を割愛させていただきます。

ただ、夏の暑い時期に今年はバスを走らせたということもあり、その件に関してのお話も結構ございました。議会の報告に続いてバスの話に移るのですが、議会で方向性を説明させていただいた点が二つあります。

一つは、今年は集合場所から学校までの距離が3和の方を対象にしてバスを走らせていたのですが、統合小学校は2和を基準にしておりますので、来年から2和以上の方を対象にできないか検討するようにしております。財政協議もありますので教育委員会だけで決定することはできないのですが、教育委員会としましては、来年度から2和以上の方を対象に進めていきたいと申し上げております。

もう一つは、統合小学校は2和以上ですが、バスでの通学ということに関して統合していない学校も含めて2和以上の子供さんもいらっしゃるということもありまして、泉は来年度から始まります。それ以降は善防中学校区の小学校、加西中学校区の小学校と順次になるのですが、加西中学校区の小学校まで待つとかなり時期も遅れてしまうということもあり、どこかの時点で集合場所が2和以上の児童についてはバス通学ができるように進めていきたいと思っています。もちろんそれは統合よりも早くなるということも考えられます。これも予算等の制約もありますから、必ずしもそのとおりにできるかどうか確約は取れませんが、令和9年に向けて全ての小学校において、集合場所から小学校までの距離が2和以上の児童についてはバス通学ができるよう準備を進めていけるように議会でもご報告した次第でございます。

教育総務課長

令和7年度学校給食アンケートについて報告します。当アンケートを7月10日から8月12日の間で、全校生徒2,772人を対象に行いました。回答人数は2,402人、回答率87%となっています。前は3年前でしたので、そのときと比べてどれだけ変化しているかを確認して、これからの給食をよりよくしていこうという目的で実施しました。

調査結果については以下のとおりです。

「給食はおいしいですか」という質問には83%の子供が「おいしい」か「とてもおいしい」、「ふつう」は10%台です。「おいしい」や「とてもおいしい」と回答した子供が80%以上いるということで、今の給食は大部分の子供がおいしいと感じていると感じています。

「給食は残さず食べていますか」という質問では、「残さず食べている」と回答し

た子供が半数以上の 53%、「ほとんど残さずに食べている」とした子供が 22%でした。前回の調査と比べますと、「残さず食べている」という子供が減っていることにはなっていますが、全体的に合わせるとそんなに変わりはありませんでした。さらに、「給食を残す」と言った子供に、「残す理由は何ですか」と尋ねました。全体的に多い順番にいきますと「苦手なものがあるから」が 1 番、次に「量が多いから」、そして「食べる時間が短いから」となっています。特に、中学生は給食の時間がとても短いということで、「量の割に食べる時間が短いので残している」ということではないかと推測します。

給食の味つけについては、「ちょうどいい」という子供が大部分で、「濃い」や「うすい」と答えた子供は全体の 10%程度にとどまっています。

次に、「給食の量はどうか」という質問です。これが残すということに関係してくるのですが、ごはん、パン、おかずについてそれぞれ聞いています。ごはんの量については「ちょうどよい」と回答した子供が 60%、「多い」と回答した子供が 36%で、「少ない」と回答した子供が 4%となっています。ごはんの量については、この後に出てくるパンやおかず比べて多いと感じている子供が 30%を超え、特に中学校では 43%を超えています。これが食べ残しの原因になっている可能性もあるのですが、給食を提供する側からしますと摂取カロリー等を考えていますので、ぜひ皆に残さず食べてほしいと思っております。

次にパンについてです。パンの量は 72%の子供が「ちょうどよい」で、「多い」と回答した子供は 18%、「少ない」と回答した子供が 10%でした。パンは大体の子供がちょうどいいと思って食べているのかなと思います。そして、おかずについては、量についても「ちょうどよい」と答えた子供が 74%、中学生は 72%が「ちょうどよい」、そして「多い」が 10%で、逆に「少ない」が 18%と、ごはんと比べておかずが少ないと感じているのかなと思いました。

また、好きな給食と苦手な給食を尋ね、三つずつ書き上げています。好きな給食のトップスリーは小学校も中学校も一緒にカレー、唐揚げとパンが来ています。そして、苦手な給食のトップツーですが、なすびとお魚が挙がっています。

そして、給食に加西市でとれた食べ物が使われているかどうかということについてです。加西市では食育に力を入れているのですが、前回に比べてどうなっているかということで尋ねました。全体的に「知っている」は 68%、「知らない」が 32%で、まだまだ知らない子供が多い印象です。前回、小学生では「知っている」と答えた児童が 52%、中学校では 55%でした。それが今回は「知っている」と言った子供は小学校では 65%、中学校では 72%となっていましたので、前回よりも大幅に上回ったと思っています。今後も引き続きこの 30%の子供にもわかってもらうように食育に力をいれていきたいと思っています。

教育委員の質問と回答

- ・給食のアンケートに限らず、いつも出ているアンケートのことですが、部長に報告が上がってくると思うのですが、部長や課長にこういうデータが報告される時は、過去の推移の資料も一緒に全部上がっているのですか。今みたいな感じの口頭で前年の資料を見ながらやっている状況ですか。

- ・私たちがデータを上司に上げるときには、過去の資料とセットで上げています。資料は、変化した事象の事実や考察もセットで作っていかないと、毎回、前回の資料を見ながら「これ増えたかな、減ったかな」と比較しないとダメです。また、多くの人が推移と事実と今の考察とかを見て、そこで何か問題点を発見できたりもすると思います。だから、最初にそれを一回作って過去からずっとつないでいけば、人が変わっても同じ質問に関しては変化がわかるようになります。できる限りそのようにお願いしたいなと思います。

(教育総務課長の回答) 過去とつなげていって変化がわかりやすいように作っていくということですね。

- ・そうですね。それをできる限り多くの人に見てもらって、どこに問題があるのかをその人だけでなくとも見てもらって、そこに事実プラス考察があったらいいのかなと思うので、大変だと思いますが、よろしくお願いします。

- ・まず、よかったところは、味つけがおいしいと思って食べている子供が非常に多いということで、とても安心しました。あとは、残す理由の一つには食べる時間が短いということで、学校も忙しくてなかなか難しいと思いますが、たとえ5分でももう少し長めに給食の時間を取り、逆に準備の時間を頑張って短くするというような形ででもできたらと思っています。

それから、嫌いな食べ物の中の一つに、防災体験給食で提供したレトルトシチューがまずかった、おいしくなかったということですが、これは逆に切り口になると思います。当然、その場で作られたものよりも、非常食はおいしくないかもわからないけど、大事なことですよね。何が起こるかかわからない要するに非常時にはとても役に立つ物であるという切り口から、子供たちにもっと防災意識を高めてもらうことにつながっていくのかなと思っています。

一番心配しているのは物価の高騰ですね。特に、米代がもう一時期は、我々、農家としては高く売れるのはありがたいけど、給食とか消費側に立つと、お米につられてほかの野菜とか、お肉、果物も魚も上がっているという状況で、必要カロリーを提供しなければならない中で、加西市は無償化ということもあり、来年度に向け

て少し予算を多めに確保していただくということも必要になるかも知れません。その辺り頑張っていたらありがたいと思います。

(教育総務課長の回答) 物価がすごく高くなり、来年もお米が高くなる旨の通知をいただいています。もちろん野菜もお肉も高くなっているので、予算を要求しないことには子供の食事を守れないと思っています。予算確保に努力します。

- ・一つ気になるのは「給食は残さず食べていますか」の残食の 25%です。これも 3 年前と変わっていないのですが、25%の残食率というのは結構多いほうですか。

(教育総務課長の回答) 多いと思います。計算上、子供たちが残さず食べて必要な栄養を摂取できるということで計算していますので、それを考えると残食多いかなと思っています。

- ・ごはんが多いと書いてあるのが気になります。ごはんのほうは物価上昇は目立っているのですが、調整していかなければいけないのではないかということです。残食率をできるだけなくしていくために全国とも比較しながら、もし 3 年後に次のアンケートを取られるようでしたら、追求し反省点を踏まえてやっていったらいいのではないのでしょうか。

あと、もう一つは知名度です。加西市産が使われている知名度が今 68%です。これが多いのか少ないのかはよくわからないのですが、加西市産の食材を使っていることの宣伝や、広報などこれを上げていく策は何かあるのですか。

(教育総務課長の回答) 加西産の食材、どこの地域のものを食べているという掲示物はあるのですが、多分廊下に貼ってあっても、子供が立ち止まってじっと見るかといったら、見ないのかなと思います。どちらかという口頭で聞くほうが「ああそうなんだ」と入ってくるのかなと思いますので、栄養教諭の方々と話をさせていただいて状況把握をしてから、今後の方法を考えていきたいと思っています。

- ・お昼休みの放送を利用して、産地の紹介などひとこと言うのはどうでしょうか。もしかすると「加西市のこれを食べるのだったら、残さないで食べないと」という意識を持って食べる子もいるかも知れないですね。

- ・計画訪問で給食を食べるときに放送がかかって「今日の加西産の作物、これとこれは加西でとれた食材です」と言っている学校もありました。だから、そういうのをどんどん利用することを広めるのは、すごく大きな要素になると思います。

(教育総務課長の回答) 調査させていただきます。

- ・取りあえずは残食率です。単純計算で 25%は 4 分の 1 だから、4 分の 1、これを残

すのは具合が悪いです。全国や兵庫県がどれだけの残食率か調べてないから私は何とも言えないのですが、残食率を上げていくような努力を私も考えたいと思いますので、よろしくお願いします。

(学校教育課長の回答) 今もありましたように、学校によっては確かにかなり熱心に放送をしているところもありますし、栄養教諭も市内に4人おりまして、地産地消にはかなり力を入れております。栄養教諭は子供たちの前で授業することも度々ありますので、そのたびに地元食材については説明をしているとは思いますが、ただ数字に表れていますとおり知らない子も割りというのだなという事実をまた改めて栄養教諭に伝えて、今後また改善を図ってもらえたらと思います。

学校教育課長

2学期が始まって4週間が過ぎようとしています。9月も相当な暑さが心配されましたが、5日金曜日が、大雨警報が出て臨時休校になったり、前半は曇り空の日が多かったこともありましてそれほど混乱することは無かったです。熱中症に関しましては、平日の授業日で熱中症の搬送はなかったものの、土曜日の中学生の部活動の練習試合の後にちょっと体調が悪くなって、下校途中に保護者に病院へそのまま連れていってもらったという報告が1件ありました。それにつきましても大事には至らなかったと聞いております。2学期の当初も大きな問題もなく、穏やかな2学期がスタートしています。

今年度は昨年度よりもさらに運動会や体育大会がおそい月の開催となっていますので、その練習で慌ただしい思いをしていないことも一因かなと考えております。先日の土曜日20日には市内中学校の部活動新人大会が行われました。それから、明日27日は日吉小学校で運動会が開催されます。今後10月18日の土曜日まで4週続けて五月雨式にどこかの学校で運動会や体育大会が開催されることになります。ご都合のいいときがありましたら学校をのぞいていただいて激励していただけますと助かります。

また、明日27日に市民会館において今年で3回目となる世界的指揮者、西本智実さんをお招きして、プロから学ぶ体験型音楽教室を行います。10時から始めまして3時半頃まで開催する予定になっております。こちらもご都合がよろしければご参加いただけますと、ありがたく思います。

教育委員の質問と回答

- ・昨日、九会小の校長先生とお話したのですが、運動会に向けてリレーのメンバーや順番を決めるのに走らせてみると、体力が昔に比べて落ちているということでした。それはスクールバスとかいう関係ではなくて、もうとにかく暑くて体育の授業ができないということも原因ではないかと話されていました。体育館のクーラーを入れ

る計画もありますのでそこは考えていかないと、本当に暑過ぎるという影響が子供たちの体力にも出てきているのではと話をし、明日の教育委員会をお願いしておくという話で終わりました。校長先生方も何とか子供たちを運動させないということ、家ではもう本当に習慣はできないですし、学校でやらないといけないという状況下にあるということで、子供たちが運動できる環境をつくっていくのも大事だと考えたところです。

市参事兼こども未来課長

令和8年度、学童保育園入園申込みについて、10月14日よりホームページに掲載し、11月4日から19日までを申請期間として希望者を募集する予定としております。来年度の申請より、原則電子申請とすべく準備を進めております。

生涯学習課長

生涯学習課長の代わりに教育総務課長から以下の報告がありました

令和7年度公民館まつりについて報告します。現在、各館の登録グループ連絡協議会を中心に公民館職員、その他関係の皆様が、開催に向けて準備を進めております。教育委員の皆様におかれましてはご多忙とは存じますが、ぜひ足をお運びいただければ幸いです。各館の日程につきましては行事予定にもありますが、簡単に説明させていただきます。善防公民館——第34回善防公民館まつり、そして創立30周年記念事業といたしまして10月25日、26日の週末に開催します。北部公民館のふるさとの祭典は11月8日土曜日、南部公民館の宮き野のつどいは11月16日の日曜日、そして中央公民館、中央ふれあいまつりは11月22日、23日の週末となっております。よろしくお願いいたします。

教育委員の質問と回答

- ・いつも公民館まつりでは、いろんな催物をされていますが、私が思ったのは、今年はこれに向けてこういうのを目玉でやりますという目的か何かを公表した上でやれば、よりみんなが興味を持って参加されるのではないかなと思うのですが。
(教育総務課長の回答) 基本的に公民館まつりは登録グループの発表がメインです。登録グループの代表者が集まり、自分たちがどんな発表をするのか、講演会でどんな講演をするのかということを話し合います。また、北部では必ず泉中の生徒に来ていただいています。多分テーマを決めてされてはいると思います。今回、善防公民館は30周年ということでされてはいますが、公民館まつりで目玉を本当につくることができるのかというのは、公民館と話をしてみないとちょっと難しいかもしれないと思います。

- ・例えば各小中学校で体育祭とかをするときは、スローガンを出して、それに向けてみんなやっているイメージがあります。公民館まつりでもこのようにスローガンを出してやって、なおかつ登録グループの何チームかでコラボ企画をする等、ほかと違うようなものをやったらどうなのかと思いました。やはり個性あふれるような祭りにしないといけないのではないかということは、私はずっと言ってきました。

(教育総務課長の回答) 生涯学習課長に伝えまして、公民館の館長と集まる会がありますので、こういうご意見をいただいたということで伝えておきます。

- ・来年からは個性があふれるようにして、今年はここが違うというのを見させてもらったら活気づいていいのかなと思いました。公民館が今やっている地域や小中学生と一緒にボランティアをし、コミュニティあふれる公民館まつりになってきているので、もっと地域を活性させるためにも、そういうようなこともやったほうがいいのではと思います。小中学生が入った公民館まつりは、前に僕が教育委員になった頃に比べて、活性化してきたのではないかなと思うので、コミュニティスクールもあるし、公民館まつりも一体となってやればいいのではと思いました。

総合教育センター所長

1 点目、令和 7 年度第 1 回加西市子どもいじめ問題対策審議会について報告します。8 月 20 日、総合教育センターにおいて、令和 7 年度第 1 回加西市子どもいじめ問題対策審議会を開催しました。いじめの認知件数の推移と学校に周知したいじめの認知について事務局より説明した後、二つの事例検討を行いました。加害児童生徒の特性を踏まえた指導だけでなく、加害児童生徒の指導とは別に話を聞いて、抱えているストレスやしんどさを知ること、未然防止や再発防止につなげることが大切だという示唆をいただきました。また、被害児童生徒の方も、うまくかわすスキルや SOS の出し方を教えることで、重大事態の未然防止につながるという指摘もいただきました。そして、周囲で見ている児童生徒がいじめなどを止められるように、自浄能力の育成の大切さを再認識しました。そのためには尊厳を尊重する指導をふだんの生活の中で行い、教師自身の人権感覚を磨いていくことの重要性も再認識しました。委員からいただいた意見を参考にいじめ見逃しゼロに努めてまいります。

2 点目に、令和 7 年度いじめ防止運動作品展について報告します。児童生徒がいじめ防止の標語やポスターを創作することで、いじめについて正しく認識し、いじめ防止に向けた意識向上を図る取組みとして、標語とポスターを募集しました。募集対象ですが、標語は市内小学校 6 年生と中学校 2 年生、ポスターは小学校 5 年生と中学校 1、3 年生となっております。応募総数は 737 点で現在、審査を行っており、学年ごとに最優秀賞等を選びます。10 月 6 日から 10 月 17 日にアステアかさいで入賞作品

展を行い、その後、市内小中特別支援学校全 16 校において 1 週間ずつ持ち回り作品展を予定しております。今後、最優秀賞や優秀作品はいじめ防止チラシや青少年健全育成カレンダー、クリアファイルに掲載し、児童生徒や市民に配布し、いじめ防止の啓発に活用してまいります。教育委員の皆様におかれましても、期間中にアステアかさいを訪れる機会がございましたら、3 階ウォールギャラリーにもお立ち寄りいただければと思います。

教育委員の質問と回答

・ いじめ問題対策審議会の報告ですが、とても大事なことだなというふうに思いました。子供たちが SOS を出せる力を持つ、それから周囲がしっかりいじめを止められる力を持つということ、この意見を今度は具体的にどう実現していくのか、どういうふうに推進していくのかというのが大事だと思うので、大変だと思いますが、ぜひよろしくお願いしたいと思います。

・ いじめ問題対策審議会についてということで、直にその加害者の方の話を聞くとか、被害者が SOS を出せるようにとか、教師にも人権のことについて磨いていくということでしたが、これは今回の審議会に出たことであって、それを基に今から動いていくということですか。前からずっと出ているのですか。

(回答) 今回、出た意見の中で顕著なものを取り上げさせていただきました。

・ では、毎回いじめ問題対策審議会をされていると思いますが、毎年こういうことをやったらいいのではないかと、こういうことをやっていこうというような意見が出てきたと思うのですが、それに対して毎年成果が出ているのか、一緒だったというのは、あくまでもデータ上の問題なのですが、いじめの問題は数値的には全然変わっていないのですか、増えているのですか。

(回答) 増えていっています。

・ 実際にこの審議会をやっている意味はあるのかなと思いました。毎年課題が出されました、それについてどう対応していったのかというのはフォローとかはないのですか。ただ単に話はこのままで終わったのですか。

(回答) 出ました意見は管理職会や学校、警察、総合教育センター連絡会において「こういう意見が出ました、こういう取組みをお願いします」ということをお願いしております。大きないじめ問題に関しては月末報告を待たずに学校から報告をいただいて、センターも一緒に解消に取り組む場合もありますので、意見をいただいてそれで終わりということはありません。

- ・今回この審議会について「こういう課題が出て、結局1年を通してこうでした」というのは、各先生のほうには周知はしてあるわけですか。

(回答) 周知はしております。

- ・それでもなかなか数値は減っていないという状況で、何か対策として、「こういうことをしました」というところまでは周知はされないのですか。

(回答) 数字を減らすことより、見逃しゼロを目指すというのが現在の流れです。小さいいじめも見逃さずに指導していこうという流れですので、どうしても数字的には増える傾向にあるのかなと思います。

- ・その数値をゼロにする、見逃しをゼロにするというのは何のデータを見たらわかるのですか。例えば見逃しが例えば10ありました。でも、次の年になったら5になりました。その次の年だったら3になりました。

(回答) いじめ見逃しが重大事態を引き起こすと考えておりますので、重大事態の未然防止が目的であって、いじめ見逃しゼロということで取り組んでおります。

- ・根拠的なデータがよく分からないので、根拠がないのにやっても変わらないのではないかなと思います。こういう課題を出して、こういう根拠で見逃しゼロをここまでつなげましたというのがほしいかなと思います。ただ単に課題をやって、見逃しはこういう力を入れてこうやっていますだけでは、数値は別として、毎年何か同じような感じで終わってしまいそうに思います。

- ・現場では毎年いじめアンケートをされていますよね。今、年何回されていますか。

(回答) 年2回から3回行っております。

- ・加西市内の学校に私が勤めていたときも頻繁にいじめアンケートをされていました。1件1件の内容に担任の先生がすごく対応されるというようなこともあり、その対応はちょっと数ではなかなか難しいように思います。

- ・数は教育委員会にも上がってくるのですが、ここまではいつも根拠でこう話しされてやっているのだけど、一向に効かないものだから、毎年言っていることですが、話だけではなくて、その出された課題に対してどういう対策をしてどういう成果が出たのかというのを知りたいと思いました。

- ・センター長も言われたように、今まではいじめられてもなかなか言わなかったとい

うか、もう先生にも親にも SOS を出せなかった子が出せるようになってきたという形で結構、件数は増えているのだけれど、それはいじめられていたのに黙っていた子供が声を出せるようになってきた、また先生も細かいところに気がつくようになってきたということで、そういう数が増えるというのは、積極的ないじめの発見につながっているという解釈をしているときでもあります。当然、重大事案が起こるのは駄目なので、それはそれで別途の対策をしないとイケないのですが、軽度のいじめについても報告ができるようになってきた、見つけられるようになってきた、だからその数値が増えている。それがいいのか悪いのかというところは議論があるところだとは思いますが。

- ・ こういう対策をしたから被害者の方が言葉に出して言えるようになった。なぜそれをしてこうだったというようなことは、学校の先生に周知しているのでしょうか。
- ・ それはしっかりとやっているとします。全部出てきて、その数自体が減っていくというのが理想ですね。
- ・ それは分かります。周知をしているのですね。今回だったら三つの議題を挙げられていますが、これに対して来年度この場で報告されるときには、こういう対策をしたから、見逃しゼロがこれだけ減りましたよという報告をしていただけたら、根拠は大事ですからちょっとは納得すると思います。せっかく審議会をやっているのに、変わらないのだったらやってもどうなのかなと思っているだけです。マニュアルとはいかないのですが、課題に対して、こう対策をしたら、こんな成果が出て、見逃しが減ったというようなことを各先生に周知をしたら、それではこの方法でやっていけないといけないのだなとなると思います。
- ・ 以前にも聞いた質問ですが、いじめポスターの件でこれに効果があるのかという話と、それからそれなりのお金を使って多くの人に関わってやっていることなのですが、この目的としているところをそれ以外の方法でも何か検討されたけど、やはりこのポスターに一番効果があるという話になったのか。その辺どういう話だったのか教えてほしいです。

(回答) 検討もしたのですが、目新しいことが思いつかなかったというのが正直なところです。ただ、以前でしたら健全育成カレンダーという形でしていたのですが、クリアファイルにすることで目に触れやすくなりました。いじめ防止の意識を高めるということで始めましたので、その辺りは補導委員会とも連携をしておりますので、話をしながら方向性を考えてまいりたいと思います。

- ・具体的に言うと、例えばいじめられているときに、ポスターや受賞等をいじめられる側から見たときに、こういうことをしてくれたらいじめなくなる可能性があるなとかと本当に思うのかなというのが一つあります。要は絵やポスターが今の時代と合っていないというのがあると思います。それで、この啓発とかそういうのだったらほかにも方法があるのではないかなということです。どうしてもこれでないとダメな理由が今の話を聞いているとなさそうなので、もう一度検討していただきたいと思います。
- ・加西市以外のところで、いじめの防止運動としてどんなことをされているかとかいうのは、調べたことないのですか。
(回答) 他市の取組みについてはあまり調べてはいません。
- ・各市町や全国でどういういじめ防止運動をされているかというのを一度、調べてもいいのではないかと思います。この方法にとらわれるのではなくて、もっと広い目で見ればこんないじめ防止運動があるのかと出てくるかもしれないと思います。
- ・姫路市でも、ポスターと同時に標語とかもされています。加西市のいじめ防止ですが、標語なんかは家庭で子供と考えましたし、割と年に家族で話すという機会のほかにもあったと思います。とにかく何か意識の中で年に何回か啓発的に考える機会は自分の子供のときにもありましたし、姫路市もそれはしていました。あと、ポスターで賞をもらった子などは、目につくところにそれをずっと貼ったりして、とにかくずっと見なくてもこれは駄目なのだということに触れておくという感じは加西市でもされていたと思うのですが、ほかにもいろいろあったらいいと思います。
- ・要は、「いじめはいけない」という意識を与えていく目的でということですよ。

図書館長

読書週間イベントについて報告します。今年の読書週間は10月27日から11月9日で、これに合わせまして健康課とのコラボイベント、「読書を始めて『健幸』を高めよう～本を読んでポイントGet!!」と題しましてイベントを開催します。このイベントは10月1日から11月31日までの間に図書を借りることで、加西・多可健幸アプリ内の特別ポイントを獲得できるというものです。対象は健幸アプリ及び図書館利用登録者で加西市民に限ります。ポイントの付与は1回の貸出しにつき10ポイントで、1日1回を上限として1か月最大で5回、期間内で100ポイントを最大といたします。ポイントの獲得方法は、図書館で本を借りた後に、自動貸出機前に掲示されているQRコードを健幸アプリで読み取っていただきます。読書を通じて多くの知識を得ることが

できるだけではなく、読書にはストレスの軽減や認知機能の低下防止といった効果があると言われています。今回のイベントをきっかけに読書週間を身につけていただきたいと思います。

次に、休館日の設定に係る運営規則の改正案の提出について報告します。先月の委員会では9月委員会での提出予定と申しておりましたが、10月2日に図書館協議会が開催されます。そこで休館日について協議を行いました後、10月22日の定例教育委員会に議案を上げさせていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

教育委員の質問と回答

- ・この健幸アプリとか図書館の図書カードは持っていない方でも、当日その期間内にアプリでやるというのもOKなのですか。

(回答) 市内にお住まいの方にはなりますが、当日、図書館に登録いただいて、健幸アプリの取得をしていただいても大丈夫です。

学校再編室長

9月24日に第8回泉中学校区統合小学校の開校準備委員会を開催しました。今回はスクールバスの運行について、引き続き乗降場所、運行ルートや運行ダイヤ等の確認をしていただきました。併せて小学校の北側にバスロータリーの整備を進めておりますので、そちらについても説明をさせていただきました。もう一点、泉小学校の校章ですが、原案は手書きのデザインだったのですが、デジタルデータができましたので確認をしていただき、今後、校旗や掲揚旗の作成を進めていきたいと考えております。最後に、各小学校の開校式などの内容等について、各小学校の校長先生方に現在の進捗状況について報告をしていただきました。

1 1 協議事項

なし

1 2 教育委員の提案

なし

1 3 今後の予定について

- ・令和7年第10回定例教育委員会 10月22日(水) 14:00～多目的ホール
- ・令和7年第11回定例教育委員会 11月19日(水) 14:00～多目的ホール

1 4 その他
なし

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和 7 年 9 月 26 日

出席者

(出席者署名)